

松監事一第21号
令和3年8月23日

松本市入山辺里山辺財産区
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一
同 竹 本 祐 子
同 上 條 俊 道

令和2年度松本市入山辺里山辺財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度松本市入山辺里山辺財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

令和2年度松本市入山辺里山辺財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和2年度松本市入山辺里山辺財産区特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和3年6月15日から令和3年8月22日まで

第3 審査の方法

地方自治法第296条の5第1項の規定による財産区運営の基本原則に基づき、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等について検証するとともに、担当職員から説明を聴取し、審査を実施しました。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

1 決算の概要

(1) 総括

予算現額 2,196 万円（前年度対比 223 万円、11.3%増）に対し、歳入の決算額は 2,265 万 4,610 円（前年度対比 121 万 3,240 円、5.7%増）、歳出の決算額は 1,385 万 5,957 円（前年度対比 341 万 7,693 円、19.8%減）で、形式収支は 879 万 8,653 円（前年度対比 463 万 933 円、111.1%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 879 万 8,653 円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

年 度 区 分	2 年 度 (a)	元 年 度 (b)	比 較 増 減 (c) = (a) - (b)	増 減 率 (c) / (b)
予 算 現 額	21,960,000	19,730,000	2,230,000	11.3
歳 入 決 算 額	22,654,610	21,441,370	1,213,240	5.7
歳 出 決 算 額	13,855,957	17,273,650	△3,417,693	△19.8
歳入歳出差引額 (形式収支)	8,798,653	4,167,720	4,630,933	111.1
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支	8,798,653	4,167,720	4,630,933	111.1

(2) 歳入

収入率は、予算対比 103.2%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、土地貸付収入 800 万 8,947 円、繰越金 416 万 7,720 円、県補助金 374 万 9,900 円です。

決算額は、前年度と比較して 121 万 3,240 円 (5.7%) の増加となっています。これは、基金繰入金が増加したことなどによるものです。

なお、過年度未収金の財産区有地貸付料 18 万 8,344 円は収入済です。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 率		収 入 済 額 構 成 比
				予 算 対 比	調 定 対 比	
県支出金	3,740,000	3,749,900	3,749,900	100.3	100.0	16.6
財産収入	9,340,000	9,688,956	9,688,956	103.7	100.0	42.8
繰入金	4,700,000	4,731,500	4,731,500	100.7	100.0	20.9
繰越金	4,160,000	4,167,720	4,167,720	100.2	100.0	18.4
諸収入	20,000	316,534	316,534	1,582.7	100.0	1.4
歳入合計	21,960,000	22,654,610	22,654,610	103.2	100.0	100.0
元年度	19,730,000	21,441,370	21,441,370	108.7	100.0	-
比較増減	2,230,000	1,213,240	1,213,240	-	-	-
増減率	11.3	5.7	5.7	-	-	-

(3) 歳出

執行率は、63.1%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 608万3,000円、総務費の財政調整積立基金積立金 248万4,323円、総務費の管理運営委員・職員等報酬 266万6,286円です。

決算額は、前年度と比較して 341万7,693円（19.8%）の減少となっています。これは、農林水産業費の工事請負費及び議会費の使用料及び賃借料等が減少したことなどによるものです。

歳 出 状 況

(単位：円、%)

区分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	940,000	728,168	211,832	77.5	5.3
総務費	7,245,000	6,210,869	1,034,131	85.7	44.8
農林水産業費	10,850,000	6,916,920	3,933,080	63.8	49.9
予備費	2,925,000	0	2,925,000	—	—
歳出合計	21,960,000	13,855,957	8,104,043	63.1	100.0
元年度	19,730,000	17,273,650	2,456,350	87.6	—
比較増減	2,230,000	△3,417,693	5,647,693	—	—
増減率	11.3	△19.8	229.9	—	—

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地の年度末現在高は、山林 29,202,317.2 m²、宅地 3,635 m²、ともに年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、8,276,931 m³増加し、293,688,400 m³となっています。

物権は温泉権が2カ所、出資による権利は松本広域森林組合への出資金 204万3,000円で、いずれも年度中の増減はありません。

(2) 物品

乗用車1台で、年度中の増減はありません。

(3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高（出納整理期間を含む令和2年度予算による積立て、取崩し後の金額）は、1億4,580万1,117円で、前年度と比較して48万4,323円増加しています。

3 監査委員の意見

本財産区は、土地貸付収入等の財産収入の割合が高く、財政運営は、比較的安定しています。また、昨年度に発生した土地貸付料の収入未済について、早期に解消が図られたことを評価します。

今後も、広大な森林の自然環境を守るために、間伐・保育事業等維持管理を継続的に行うとともに、長期的な観点からも森林整備と保全に取り組んでください。